# マーケットデイリー

2026年11月27日 情報提供資料

## 今日のトピック　2026年12月の注目イベント｜日米の金融政策に注目

■8、9日には、米連邦準備制度理事会（FRB）による米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催されます。10月会合では、政策金利は据え置かれたものの、メンバー2名が利上げを支持したほか、FRBのウォーシュ議長も会合後の会見で、インフレ率は高すぎるとの見解を示すなど、インフレへの警戒感が依然として強いことが示されました。また、その後に発表された10月の雇用統計では非農業部門雇用者数が市場予想を大きく上回り、同月の消費者物価指数（CPI）も市場予想を上回ったことなどから、市場では12月利上げ観測が高まっています。12月会合では利上げの有無に加え、同時に公表される経済見通し（SEP）などを通じて、今後の利上げペースやインフレ見通しにどのような示唆が得られるかが注目されます。

■10日には、米国の11月消費者物価指数（CPI）が公表されます。10月のCPIは前月比＋0.4%、食品・エネルギーを除くコアCPIは同+0.3%となり、いずれも市場予想を上回りました。FOMCメンバーが相次いでインフレ率の高止まりに対する懸念を示すなか、市場では2026年12月、2027年1月の連続利上げ観測も高まっています。11月のCPIがインフレの根強さを示す内容となるかどうかが、2027年のFRBによる金融政策の方向性を占ううえで注目されます。

■17、18日には、日銀による金融政策決定会合が開催されます。日銀は10月会合において政策金利を据え置きました。10月会合後に公表された「経済・物価情勢の展望（展望レポート）」では、基調的な物価上昇率が2%目標と「おおむね整合的な水準」との判断が示されました。一方で、企業の賃金・価格設定行動の積極化などから、基調的な物価上昇率が物価安定の目標を超えて上振れていくリスクについても言及されました。市場では利上げ観測が高まっており、12月の会合で利上げが実施されるかどうかが大きな注目点となります。

**【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2026年12月）】**

| 米国 | 欧州 | 中国・アジア・その他 | 日本 |
|---|---|---|---|
| 1日:11月全米供給管理協会(ISM)製造業景況指数<br>3日:11月ISM非製造業景況指数<br>**4日:11月雇用統計**、12月ミシガン大学消費者信頼感指数<br>8日:10月貿易収支<br>**8-9日:FOMC**<br>**10日:11月消費者物価指数(CPI)** | 1日:ユーロ圏11月CPI<br>3日:ユーロ圏10月PPI<br>4日:ユーロ圏10月小売売上高 | 1日:中国11月レーティングドッグ製造業PMI、トルコ7-9月期GDP<br>2日:豪州7-9月期GDP<br>3日:中国11月レーティングドッグ非製造業PMI<br>4日:インド準備銀行政策金利発表<br>8日:中国11月貿易収支、オーストラリア準備銀行政策金利発表<br>9日:中国11月CPI、11月PPI<br>10日:トルコ中央銀行政策金利発表 | 1日:10月失業率、10月有効求人倍率<br>7日:10月景気動向指数<br>8日:10月毎月勤労統計、10月国際収支、10月家計調査、11月景気ウォッチャー調査<br>10日:11月企業物価指数 |
| **14-15日:G20サミット**<br>15日:11月生産者物価指数(PPI)<br>16日:11月小売売上高、11月鉱工業生産、12月製造業・非製造業購買担当者景気指数(PMI) | 15日:ユーロ圏10月鉱工業生産<br>16日:ユーロ圏12月製造業・非製造業PMI、ユーロ圏10月貿易収支、イギリス11月CPI<br>**17日:欧州中央銀行(ECB)政策金利発表**、**イングランド銀行政策金利発表**、ドイツ12月IFO企業景況感指数 | 15日:中国11月小売売上高、11月鉱工業生産、11月固定資産投資<br>17日:メキシコ中央銀行政策金利発表 | **14日:12月日銀短観**<br>16日:10月機械受注<br>**17-18日:日銀金融政策決定会合**<br>**18日:11月全国CPI** |
| **23日:11月個人消費支出(PCE)デフレーター**、11月PCE、11月個人所得、11月新築住宅販売件数<br>29日:10月ケースシラー住宅価格指数<br>30日:FOMC議事要旨 | 21日:ユーロ圏12月消費者信頼感指数 | | 24日:11月企業向けサービス価格指数<br>25日:12月東京都区部CPI、11月失業率、11月有効求人倍率、11月住宅着工件数<br>28日:11月小売業販売額、11月鉱工業生産 |

（注）2026年11月26日現在。日付は現地時間。予定は変わる可能性があります。
（出所）各種報道等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ジュニアストラテジスト
前原健二（まえはら けんじ）

**ここもチェック!**
2026年10月28日　2026年11月の注目イベント
2026年　9月29日　2026年10月の注目イベント

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。 ■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。 ■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。 ■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。 ■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。 ■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。 ■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。